

資料提供(H24.9.27)	
担当課	観光振興課
担当者	坪井、中島
電話	441-2777 (内線2777)

## 平成24年

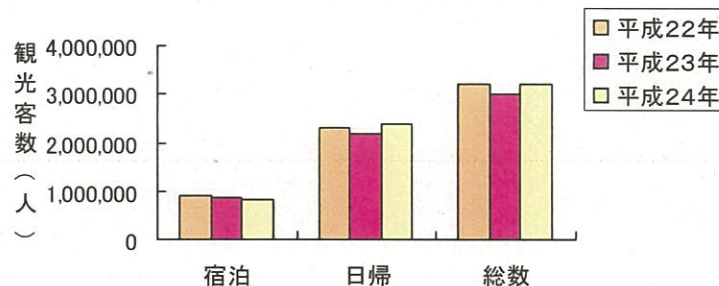
### 主要観光地における夏季(7/1～8/31)の観光客入込状況について

県内の主要観光地(7カ所)における夏季観光客入込客数は、宿泊客838,600人(対前年比97.6%)、日帰客が2,371,800人(対前年比109.5%)で、観光客総数は3,210,400人(対前年比106.1%)の入込数となった。

(単位:人・%)

	平成22年	平成23年	平成24年	前年比	22年比
宿泊客	894,100	858,800	838,600	97.6%	93.8%
日帰客	2,318,400	2,166,500	2,371,800	109.5%	102.3%
総数	3,212,500	3,025,300	3,210,400	106.1%	99.9%

主要観光地における夏季観光客入込状況



#### 主要観光地の特徴

**宿泊客は全ての主要観光地で減少したが、日帰客が好調で観光客総数は増加。**

宿泊客は家族連れなどの個人客は増加しているが、団体客が紀伊半島大水害以降、回復していないことから、減少する形となった。

日帰客は、天候にも恵まれ、海水浴客・観光施設が好調で増加し、和歌山県の主要観光地の観光客総数は増加する形となった。

和歌山市は、大規模集客施設の和歌山マリーナシティの入込客が、天候にも恵まれ昨年より大きく上回る形となり日帰客が増加し、全体の入込客も増加した。

高野町は、高野龍神スカイラインを利用した紀南方面からの観光客が減少し、宿泊客・日帰客とも減少した。

田辺市龍神村・本宮町は宿泊客の団体客が回復していない状況で減少しているが、熊野本宮大社正遷座120年大祭の関連行事等により日帰客が増加した。

白浜町は、白良浜の海水浴客が台風の影響も少なく、天候にも恵まれたことが影響して昨年よりも約7万人増加したことや、後半にはアドベンチャーワールドの赤ちゃんパンダが公開されたことにより日帰客、総数とも増加した。

那智勝浦町は、家族連れなどの個人客は増加しているが、団体客が減少したことにより、宿泊客・日帰客とも減少した。

串本町は、7月の宿泊客はツアー客の減少が目立ったが、8月には気温も高く、各施設で宿泊予約が多数あり、またダイビング客も好調で増加した。